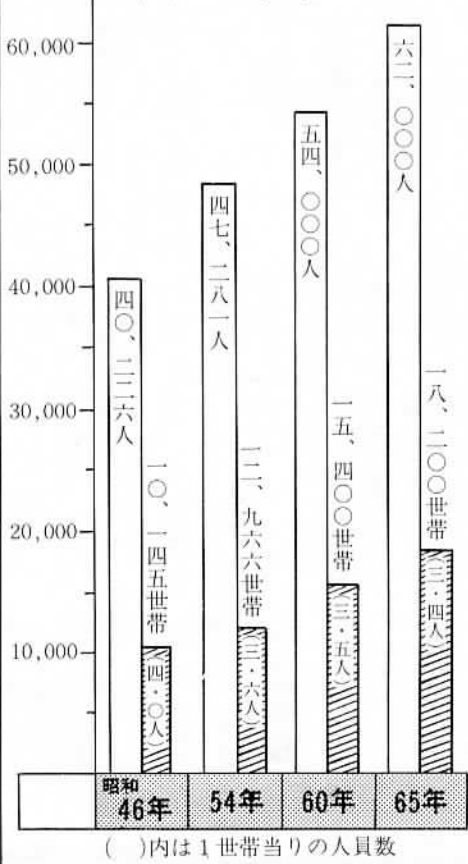


表1 人口と世帯



()内は1世帯当りの人員数

昭和四十六年に策定された総合計画が昨年度で終了し、昭和五十六年度を初年度とする「総合計画」が新たに策定されました。

計画策定にあたっては、市民の意向を把握し、本計画に反映することを目的に実施した「市民意識調査」(市報三百号参照)を参考として、市職員で構成する総合計画策定委員会が策定した草案を、市民各層の代表者で構成する「総合計画審議会」(会長高野輝也、会員二十五人)において、市民生活の望ましい、将来の発展方向につき、長期展望に立った積極的な審議が行われました。

この総合計画は、昭和五十六年度から六十五年度の十年間を基本構想とし、昭和五十六年度から六十六年度までの五年間を基本計画に、昭和五十六年度から五十八年度までの三年間を主要事業実施計画期間とし、これら三部門を基礎に計画の構成がされております。

計画の構成

石岡市は、首都東京から八十里メートル、茨城県中央部に位置し、前面に霞ヶ浦を、筑波山系を後背とした、自然と温暖な気候に恵まれた、周辺農村部の拠点都市で、交通体系の整備や宅地開発、工業開発が進みつつあり、都市化が進展してきています。

このような背景のもとで、市は、豊かな自然と広大な市域、伝統文化や歴史的風土などの特性を生かして、市民が健康で文化的な生活を営むことができるよう、市民生活優先を基本理念

10年後

人口 62,000人
世帯 18,200世帯

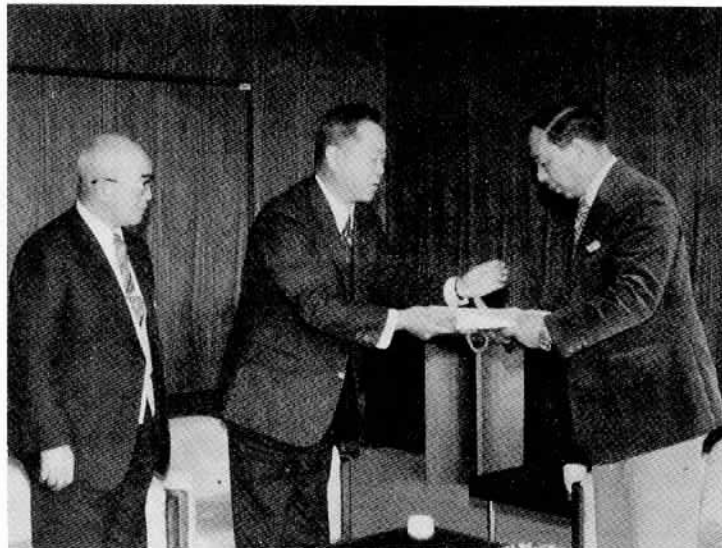
「魅力ある10万都市づくり」の足固めを!!

市民生活優先を基本に
新しい総合計画がスタート

昭和六十年代への理想的な都市づくりをめざす、新しい「総合計画」が、さきほどの三月定例市議会において決まり、今年度よりスタートいたします。

構想では、昭和六十五年には人口六万二千人と想定し、基本目標を「魅力ある10万都市づくり」の足固めに置き、土地利用や水資源の確保とともに、これら実現には、近代都市の基盤づくりなど、五項目の施策大綱が定められております。

市の都市像



総合計画審議会高野輝也会長(中央)と高野薫副会長(左)から答申をうける山本市長

として、生産環境の一層の整備をはかりつつ、総合的環境の整備された活力ある都市の形成をめざします。

このため、構想の基本目標を「魅力ある10万都市づくり」への足固めに置き、施策の柱に、次の五項目を設け、都市づくりを進めます。

- 近代都市の基盤づくり
- 住みよい都市づくり
- 心豊かな都市づくり
- 活力ある都市づくり
- 行政サービスの向上

市の目標

人口と世帯

計画の前提となる目標年次(昭和六十五年)における人口と世帯を、表1のとおり想定する。

土地利用

本市は、今後とも交通体系の整備、宅地開発、工業開発などの土地需要は増すものと見込まれます。

水資源の確保

地下水の有限性を認識し、地下水の保全と適正な利用をはかるため、霞ヶ浦開発事業、霞ヶ浦水源地域整備事業や霞ヶ浦導水構想、石岡台地農業水利事業さらには、茨城県広域水道用水供給事業等の促進に努め、将来の水資源を安定した地表水に転換するための努力をし、総合的な水資源の確保をはかります。

道路安全施設の整備、交通安全意識の啓蒙

防犯思想の普及などを図り、市民が安心して生活できるよう、交通安全行政、防犯活動を推進する。

消防施設の整備充実、救急救助体制の強化、予防消防の充実強化に努め、市民の生命と財産を守る。

緊急診療体制の整備充実などメデイカルセンターの業務拡充を図る。また、保健指導九カ年計画に基づき、すべての市民が生涯を通じて、明るく健康で活力のある生活が送れるよう、予防・治療・健康増進・リハビリテーション等包括的地域医療の充実に努める。

大規模墓地公園の建設を推進し、市民の墓地需要に応える。

市民病院(仮称)の建設を促進し、すべての市民がいつでも安心して診療を受けられるよう、医療施設の整備充実に努める。

次頁へつづく

施策の大綱

住みよい都市づくり

生活環境の整備 市民生活の保全

総合運動公園建設計画を樹立するとともに、運動公園、児童公園、こどもの遊び場などの公園の建設、並木道など緑化の推進に努め、緑と住環境が調和のとれた、うるおいのあるまちづくりを進める。

市営住宅の建替えや公営住宅の建設促進に努めるとともに

論文「50年後の石岡」

入賞者決まる

さきほど、市民のみなさまから、将来のまちづくりを考えるため、五十年後の石岡」と題して募集しました論文は、一般一、九点、小学生一五、二点、中学生七、九点が集まり、審査した結果、次の方々が入賞されました。

一般の部

一等 岩田敏男 二等 小吹武男 三等 山口千恵子、平沢光平、佳作 田中信夫、矢口幸次郎、田村貞雄

中学生の部

優秀 鈴木由美子(府中)、飯田美智子、磯ひとみ、羽成靖子、海東尚美、柴崎由巳子(以上城南中)、小川浩之、須加野浩子、荻野美和子、森田由美子(以上石岡中)

小学生の部

優秀 杉本由紀恵(北小)、加藤匠(南小)、小倉秀人、馬立浩久、河内めぐみ、片岡恭子、久保慶衣、幕内弘恵、六年三組全員(以上石岡小)、小野泰三、田上秀之(以上杉並小)、小松崎豊、浜恵子、市塚聡、熊岡悦子、滝田伸江、山崎正恵、鈴木由美(以上府中小)

お聞きになりましたか!!

◇電話番号◇

テレホンサービス(市長の声) 3-3333

市では、テレホンサービスを行っています。市長から市の予算、主な事業・施設などを録音テープを使って案内します。テープの交換は、毎月2回(1日と16日)を目安に行っております。

近代都市の 基盤づくり

都市基盤の整備

○市、組合、公団施行による土地区画整理事業により、都市化の進展に対応した、健全な市街地形成をはかる。
○都市計画道路、市道などの整備にあたっては歩道分離、通過交通の排除、安全施設の整備に努め、人間優先を基本とした、安全で快適な道路網交通体系をめざす。

心豊かな 都市づくり

○自動車駐車場、自転車置き場を整備するとともに、鉄道・バス輸送の確保に努める。
○水源の確保と水道施設の整備を進めるとともに、公共下水道、都市排水施設の整備に努める。
○社会環境の整備、社会復帰の推進、援助対策の充実、さらに障害者の福祉向上に努め、障害者の福祉向上をめざす。
○児童館、保育所、こどもの遊び場などの整備充実や父子家庭対策を推進し、こどもの健全育成をめざす。
○新設中学校の建設、小学校の増設など義務教育施設整備や児童生徒の健康管理対策を推進する。また、高等学校、大学等高等教育機関の誘致を図り、教育環境整備に努める。
○公民館、図書館の整備充実、広域青少年野外活動センターの建設を推進し、青少年の健全育成に努める。
○文化財、史跡の保存整備に努める。

活力ある 都市づくり

○工場、文化活動を促進し、市民の郷土史、郷土文化に対する理解と認識を高める。
○総合体育館をはじめ、各地区ごとに体育・スポーツ施設を整備し、市民の健康づくりに努める。
○再開発による中心商業地の整備、魅力ある商店街づくり、中小商業対策などを促進し、市民の最も身近な商店街づくりの整備振興を図る。
○生活環境の整備、歩行者と自転車の分離を図り、地区住民の安全をはかるため、幹線道路にはすべて植樹をした歩道を設けます。
○地区内に小学校一校を新設。
○幹線道路・区画街路等の整備

行政サービス の向上 行政効率化の 推進

○広報・広聴体制の強化や市民意識の高揚を図り、市民参化による市政運営をめざす。
○行政組織・人事管理の充実、行政事務の近代化を図り、市民本位の行政体制を整備する。
○財源の確保と経費の節減に努め、計画的に事業を推進し、行政サービスの向上をめざす。
○市と民間が一体となって、健全で活力のあるまちづくりを進める。
○広報・広聴体制の強化や市民意識の高揚を図り、市民参化による市政運営をめざす。
○行政組織・人事管理の充実、行政事務の近代化を図り、市民本位の行政体制を整備する。
○財源の確保と経費の節減に努め、計画的に事業を推進し、行政サービスの向上をめざす。
○市と民間が一体となって、健全で活力のあるまちづくりを進める。

駅東土地地区画整理事業(第二地区)

石岡駅の東側に隣接する駅東地区は、道路や排水施設等の公共施設の整備が十分なまま、市街化が進行している地区であります。

このまま放置すれば、スプロール化はますます進行し、無秩序な市街地になってしまふことが予測されます。そこで、駅東口の開設とこれに伴う、駅東道路網の整備と良好な住宅地の供給が住民から望まれています。

東町・大和町・東ノ辻・泉町11部の一部

基本計画を作成

市では、第一地区に引き続き今回第二地区として、東町・大和町・東ノ辻・泉町十一部の一部の、現在の居住環境の改善と今後の市街化に対応した、良好な市街地のまちづくりの基本計画を作成しました。

なお、今月以降に第二地区の権利者のみなさまと説明会を持ち、話し合いをしていきたいと思ひます。次にこの計画の概要を紹介いたします。

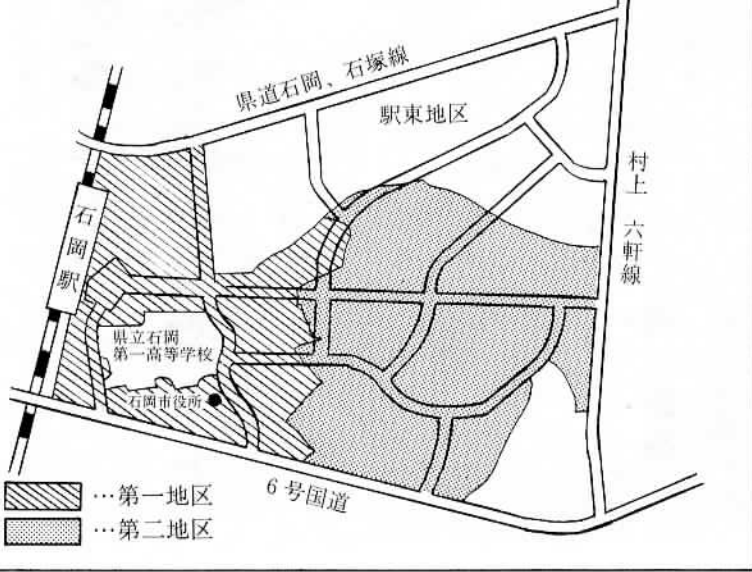
計画のあらまし

整備される 主な公共施設

駅東地区全体を、一度に事業実施すると長い年月がかかり、事業を進めにくいので、いくつかの地区に分けて事業を実施する計画を立てました。
今回は、駅東地区画整理事業区域内の第二地区を、市が施行者となって実施し、地区住民の中から選ばれた審議員と一体となって、八年の歳月をかけ事業を進めていきます。

○駅の東口に約八、〇〇〇平方メートルの駅前広場を整備。
○公園は、児童公園(〇・二五ha)程度のもので五カ所、地区公園規模(五ha)程度のもので二カ所を計画して、地区住民の利用しやすいよう配置する。

第二調査地区及び幹線道路網図



減歩の計画

土地地区画整理事業区域内に存在する、宅地の所有者・宅地に権利をもっている方の最大の関心ことは、土地の移動と地積が減る(減歩)ことであります。区画整理事業は、単なる街路の拡張整備と異なり、今までの土地の位置形状が変わり、地積が減少するなど、直接の利害に関係します。

減歩地積の 内訳

○道路、公園等の用地を生みだす公共減歩 20.29%
○保留地と事業費の一部に充てる保留地減歩 8.8%
これらを合算したものが、合算減歩(二九・〇九%)で、この地区の平均減歩率です。

日	時	場所	実施区域
6. 11(木)	午前10:00~午後3:00	市民広場	石岡地区
6. 12(金)	午前10:00~午後3:00	市民広場	石岡地区
6. 15(月)	午前10:00~午後3:00	三村農協	三村地区
6. 15(月)	午前10:00~午後3:00	関川農協	関川地区
6. 16(火)	午前10:00~午後3:00	高浜農協	高浜地区
6. 16(火)	午前10:00~午後3:00	各工商場店	神栄・各商店(光電式)
6. 17(水)	午前10:00~午後3:00	各工商場店	各工場・各商店(光電式)
6. 18(木)	午前10:00~午後3:00	各工場	石岡精工、東日電線アルコール
6. 19(金)	午前10:00~午後3:00	各工場	ソントン第一工場 ソントン第二工場
6. 22(月)	午前10:00~午後3:00	各工場	筑波乳業、石岡農協
6. 22(月)	午前10:00~午後3:00	市民広場	石岡地区
6. 23(火)	午前10:00~午後3:00	市民広場	石岡地区



はかりは
正確
ですか!

計量器の定期検査を次の日程で行います。取引または証明に使用される方は必ず検査を受けてください。
当日は、計量器をきれいにし、印かんと検査料を持参ください。

5月は自動車税の 納期です 今年の納期限:6月1日(月)

電話でも結構です。
○車検を受けるときに必要な納税証明書が印刷されておりますので、大切に保管し、活用願ひます。紛失しますと、改めて納税証明書交付申請書を提出していただくことになりますので、手数料がかかります。

高校生の二輪車 免許(51cc以上) の取得を規制

昭和五十五年中の高校生の交通事故は、一〇四件、死者二人、傷者一、〇三三人を数えております。
なかでも、自動二輪車(51cc以上)による死傷者が極めて多く、死者の七二・八%、傷者の三五・八%を占めています。
このような現状にあるため、県教育委員会では、高校生の生命を守る立場から、四月一日より大型オートバイの使用を、自主的規制する、次の方針を推進することになりました。

運転免許取得の制限

オートバイ運転免許を取得する場合は、原付免許(50cc以下)だけとなり、自動二輪免許(51cc以上)の取得を規制する。(免許取得を全面的に規制している学校は従来どおりの方針) 既取得免許証の取り扱い
既に取得している自動二輪免許については、三者(学校・本人・保護者)で十分話し合い、家庭や学校で保管するなどの処置をとる。

オートバイ使用の制限

通学のみでなく、家庭等で乗用する場合でも、原付のオートバイに限定されること。

犯罪防止と少年
非行防止に協力を

●しめたはず
●愛車への感謝の心で
カギをかけ
しまったはずでも
もう一度



▲県高浜釣り大会 3,000人が参加
さきほど、高浜市内の恋瀬川流域で行われた大会は県外者も含め、年々盛大になり、家族連れなどの大客望3000人が参加し日ごろの腕を競い合い、審査の結果、最高は9.6kgを釣りあげた東京の尾形茂さんに、知事賞が贈られました。



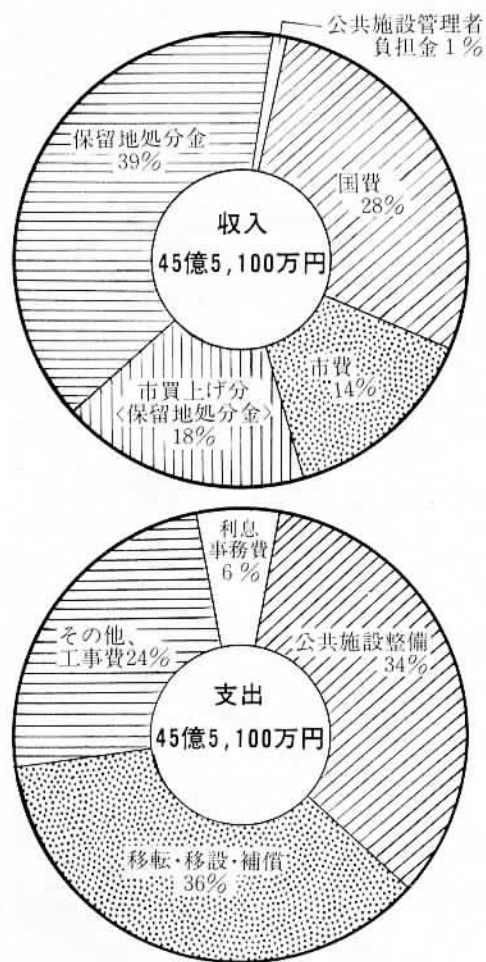
▲軟式テニス教室開く
このほど、市体育協会(広原昭部長)主催で、初心者及び中級者を対象にテニス教室が柏原庭球場で行われ、30人の参加者は熱心に指導を受けられておりました。



▲中央児童公園・地元子ども会が開園式行う
さる5月5日の子どもの日に、中央児童公園(旧東電跡)で、地元子ども会主催(5団体)による開園式が行われ、子ども会代表の石上功一君が謝辞を述べ、参加者全員におみやげが配られました。この施設には、鉄棒・ブランコ・すべり台・砂場・便所等が設けられております。



▲春の交通安全運動初日に街頭活動行
3月には4件の死亡事故があり、運動初日には、市長をはじめ、交通安全母の会や女性ドライバー友の会、関係者により、駅前でチラシ等を配布し交通安全を呼びかけました。



資金計画

この地区の資金計画は、次のグラフのとおりです。
事業収入は、国費・市費・公共施設管理者負担金・保留地処分金の財源でまかなわれます。総事業費の約4割が公費などで、残り約6割が公費などによってまかなわれます。
事業支出の内訳は、約9割が道路・公園・広場・水路・家屋移転・電話や電気移設・損失補償・水道工事・宅地の整地・調査設計等に充てられ、残りの約1割が利息や事務費に支出されます。

市史編さんだより (39)

江戸時代の通貨

専門委員 笹目蔵之助

九百文 江戸時代の庶民は日常銭を使っていた。その銭勘定は九百文といふ九十六文を百文に計算する習わしであった。
高浜の古文書に左の記事あり(文中の文は今の円と同じく通貨の単位、計算は十進法)
(一)四百六十四文 御供餅、つき貨共 (二)二百文 御神酒代 (三)三十六文 水引代 合計七百四十四文
普通の計算でゆくと計七〇〇文であるが、九百文で計算するから左の通り七〇四文となる。

行政相談委員に
鈴木清氏就任

このたび、市担当の行政相談委員として鈴木清氏が、行政相談委員は、国の行政全般について皆さんが持つ苦情や要望意見などを聞いて、その改善を図ることを任務としております。
鈴木 清 行政相談委員は、市内総社二丁目8番9号にお住いで電話は(三)一三〇七番です。取扱いは無料、名前を秘密にされたい方はご希望にそつよう取扱つていただけます。

住民記録の電算投入項目と利用状況

昭和54年度から、住民記録を電算処理することにより、成人式等の名簿や通知書の作成など、いろいろな業務に役立てていますが、昭和55年4月から昭和56年3月までに、電算活用が行われた業務と住民記録からの投入項目をお知らせします。
なお、市ではデータ保護条例の制定や市民の代表の方々からなる電算事務運営審議会を設け適正な運営に努めています。内容は次表のとおりです。(昭和55年4月～昭和56年3月)

業務名	出力された帳票名	住民記録から電算に投入されている項目
住民記録	世帯索引簿・50音索引簿・世帯主名簿・転出者名簿・転居者名簿	住所氏名
選挙	選挙人名簿・入場券・扶養者リスト	生年月日
住居表示	通知書・異動リスト・新旧、旧新対応表	続柄
市民税	納税通知書	性別
固定資産税	納税通知書	住民となった年月日
軽自動車税	納税通知書	転入(出)先
国民健康保険	国保該当世帯索引簿・被保険者台帳納税通知書	転入届出年月日
老人医療	老人医療受給者証	小学校区
国民年金	20歳到達者名簿	中学校区
児童手当	申告者・受給者台帳・支給通知書・支給統計表	投票区
敬老会	名簿・通知書	行政区(旧町名)
予防接種	名簿	様方名
住民検診	名簿・通知書	
市営住宅	納入通知書・収入報告書	
成人式	名簿・通知書	
小中学校就学業務	名簿・通知書・健康診断通知	

うひもで通してあった。この緒が四文に換算されるのだといわれる。緒には百文緒、四百文緒、一貫緒(一貫は千文のこと)とあった。なお銭は一文、四文、十文、百文の四種であった。
金遣 高額の取引には銭の外に金遣があつて、いわば銭勘定と金遣の二本立て。金遣といつても銀貨が含まれていて、次のように四進法である。
一兩(小判)は四分、一分は四朱。計算は兩、分、朱の単位で行う。例二兩三分一朱。いすれも表価貨幣で一兩、二分判金、一分銀、二朱判金、一朱銀などがあつた。
(記載のごとく金遣と銭勘定は別々に扱う。金遣の計算は前記の通り四進法。「六朱」は一分二朱「七分」は一分三分、というように計算する。もちろん銭のほうは九百計算。) 正 祝儀用語。一正は十文である。

130年忌 特別放送
都々一坊扇歌の生涯
茨城放送・午前10時20分～30分(10分間)
(月～金)・6月中旬まで放送
石岡市観光協会 石岡都々一保存会
石岡商工会議所

市長室 アラカルト 山本吉蔵
『百年間と言えは何千年間かの文明史の上では、ホンの僅かの分秒単位といつていいでしょう。そんな短時間に極東の辺境にあった小さな島国が、西欧に比肩し得る、否、場合によっては凌駕する勢いの近代工業国家に成長した事は二十世紀文明の奇跡です』
これは著名な米国のハーマン・カーンという学者が言った言葉です。しかし資源面からの制約、国際的経済構造から来る軋轢とブレイキのため低成長時代に突入したと言ふのが日本の現況ではないでしょうか。
同じく高浜文書の左記参照
(一)五十八兩一分二朱ト二百九十四文 預かり分 (二)一兩一分二朱 西組 (三)一兩一分二朱 東組 (四)一兩一分二朱 内組 (五)二十五兩 借用 合計八十九兩三分二朱ト一貫九百三十二文。
(記載のごとく金遣と銭勘定は別々に扱う。金遣の計算は前記の通り四進法。「六朱」は一分二朱「七分」は一分三分、というように計算する。もちろん銭のほうは九百計算。) 正 祝儀用語。一正は十文である。

